



2021年3月6日（土）（11:50-12:40）

～語彙力アップによる英語力アップ～

帰国生の第二言語喪失で最も顕著なのは語彙の忘却です。帰国生は、語彙力の喪失を防ぎ、確かな英語力を身につけるために逆に語彙力を増やす必要があります。今回は、語彙力を向上させるための同義語と反意語と一緒に学ぶ方法を服部孝彦博士が紹介します。語彙の習得については、応用言語学の中の第二言語習得論とよばれる分野において、これまで様々な研究が行われてきました。英単語は1つ1つ覚えるよりも、同義語と反意語をセットにして関連させたほうが記憶に定着しやすいことが、科学的に証明されています。英語の同義語と反意語を学ぶことから語彙の構築をするのは効果的な学習方法です。第二言語の習得と喪失研究の第一人者である服部博士の指導で、帰国生は自然な形で、楽しみながら語彙力向上を目指した学習をします。親子でのご参加をおすすめいたします。

【講師紹介】

大妻中野中高、英語教育・グローバル教育アドバイザー

大妻女子大学・同大学院教授、早稲田大学講師。

服部孝彦（はつとり・たかひこ）先生

初等・中等・高等教育を日米両国で受けた元帰国子女。言語学博士（Ph.D.）。米国ケンタッキー州立ムレー大学（MSU）大学院客員教授等を経て現職。公益財団法人海外子女教育振興財団外国語保持教室アドバイザー、国連英検統括監修官兼外国人面接官指導研修

スーパーバイザー、JSAF-IELTSアカデミック・スーパーバイザー、元NHK英語教育番組講師。文部科学省SGHやWWL等の、国のグローバル化のためのリーディング・プロジェクトの中心メンバーとして活躍されている。主な著書に文部科学省検定中学英語教科書『ニューホライズン』（共著、東京書籍）他、著書184冊、学術誌発表論文134編、学会発表論文171編、教育誌執筆記事491編。今までの日本及び海外での英語教育、グローバル教育、帰国子女教育関係の講演回数は合計1,060回を超える。日本に本拠地を置く現在でも日米間を何往復もしながら、米国の大学での講義・講演、国際学会での研究発表を精力的にこなす。



日時：2021年3月6日（土）11:50～12:40

※ 10:50～11:40は通常の土曜日講座を本校にて実施します。

場所：大妻中野中学校・高等学校 英語室

対象：帰国小学生とその保護者

ご参加ご希望の方は3月3日（水）17:00 pmまでに下記までご連絡ください。

メールアドレス：global@otsumanakano.ac.jp

※「3/6 帰国小学生英語講座参加希望」、「学校名、学年、生徒氏名」を明記し送信してください。



【COVID-19感染予防にご協力願います】

※御来校の際には、マスク着用とアルコール消毒をお願いしております。

※当日は、検温をしていただき、発熱・体調不良の際はご参加をご遠慮願います。

※COVID-19の感染状況によっては、開催をオンライン形式に変更する場合がございます。

ご参加される方の安全を考慮しての判断となりますので、その際はご容赦ください。

